

[003] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10264>

出版情報：語文研究. 3, 1955-11-30. 九州大学国語国文学会
バージョン：published
権利関係：



学会彙報

講義題目

第一期(自昭和三十年四月
至昭和三十年十月)

国語学概論(大学院・学部共通)

福田教授

演習 万葉集(大学院・学部共通)

演習 国語史の諸問題(大学院のみ)

国語学特研(大学院のみ)

日本文法(学部のみ) 春日(和)助教授

演習 今昔物語(大学院・学部共通)

仮名遣達史(大学院・学部共通)

春日(政)講師

日本近世文学史(大学院・学部共通)

杉浦教授

演習 西鶴の小説(大学院・学部共通)

演習 芭蕉の連句(大学院・学部共通)

日本文学研究法(大学院のみ)

講義 土佐日記(学部のみ)

杉浦教授

演習 枕草子(大学院・学部共通)

(分校)田村教授

演習 源氏物語(大学院のみ)

特講 日本文学(平安時代)に於ける

仏教思想(学部のみ)

(分校)穴山助教授

第二学期(自昭和三十年十一月
至昭和三十一年三月)

国語学概論(大学院・学部共通)

福田教授

演習 万葉集(大学院・学部共通)

演習 国語史の諸問題(大学院のみ)

国語学特研(大学院のみ)

日本文法(学部のみ) 春日(和)助教授

演習 今昔物語(大学院・学部共通)

仮名遣達史(大学院・学部共通)

春日(政)講師

日本近世文学史(大学院・学部共通)

杉浦教授

演習 西鶴の小説(大学院・学部共通)

演習 芭蕉の連句(大学院・学部共通)

日本文学研究法(大学院のみ)

杉浦教授

講義 堤中納言物語(学部のみ)

春日(和)助教授

演習 紫式部日記(大学院・学部共通)

(分校)田村教授

特講 日本文学(平安時代)における

仏教思想(学部のみ)

(分校)穴山助教授

学会行事

一、九大文学会総会(昭和三十年五月一

日(日)午前十時より)

於九大法文経第七演習室

研究発表者並びに発表題目

一、あゆひ抄における「立・居」

佐田 智明

一、近松研究方法に対する一反省

棚町 知弥

一、「天霧之」の訓について

鶴 久

一、方丈記の評価をめぐって

春山 要子

一、「もののおはれ」の伝統と平家物語

井手 恒雄

一、資料紹介二つ

橋本元二郎

1 和泉国池田郷町伏屋内契冲法師寓庵

幣垣舎図

2 与謝野晶子結婚前の書簡

懇親会（總會終了後於三畏閣）

一、九大国文学会例会（昭和三十年九月十日）

七日（土）午後一時半より）

於九大法文経第一演習室

研究発表者並びに発表題目

一、「はるか・はるけしの解明」

森山 隆

一、平家物語灌頂巻成立事情考察

のため 笠 栄治

——その「女院御往生」をめぐって——

一、第五回西日本国語国文学会総会

昭和三十年度西日本国語国文学会総会

は九月二十四・五の両日、鹿児島大学文学部講堂に於いて開催された。九大関係の発表者は左の通りである。

一、熊本方言の拗音

熊本大学 秋山 正次

一、あゆひ抄における「靡」をめぐって

九大文学 佐田 智明

研究科

一、芭蕉の閉關について

佐賀龍谷 大内 初夫

短大

一、「鷗外とハルトマン」

九州大学 重松 泰雄

一、大隅風土記の隼人語「必至」より

鹿児島 上村 孝二

一、遊山窟の伝本

福岡学芸 平井 秀文

大 学

一、伝聞推定の「なり」についての私考

九州大学 春日 和男

一、露都創刊欽定万国寄語の日本語

——二百年前の鹿児島方言か——

九州大学 吉町 義雄

研究発表会終了後、引続き公開講演会が催され、九大からは、「方言研究における方法的課題」といふ演題にて、福田良輔先生の講演があった。

○本学会はこの度十五名の新入会員を迎えました。国語学・国文学科の学生は、学部四十名、新制大学院七名、旧制大学院二名、総数四十九名になりました。